

# 海洋環境基礎情報の 取得と利用

『海洋の開発・利用・保全と日本の役割』への話題提供

升本 順夫

東京大学 大学院理学系研究科

## 海洋環境基礎情報とは

- ü 海洋の現状についての物理的、科学的、生物的な視点での基礎的なデータ
- ü また、それらの過去からの積み重ねとして、過去の状況を把握することが可能となるデータ

例えば

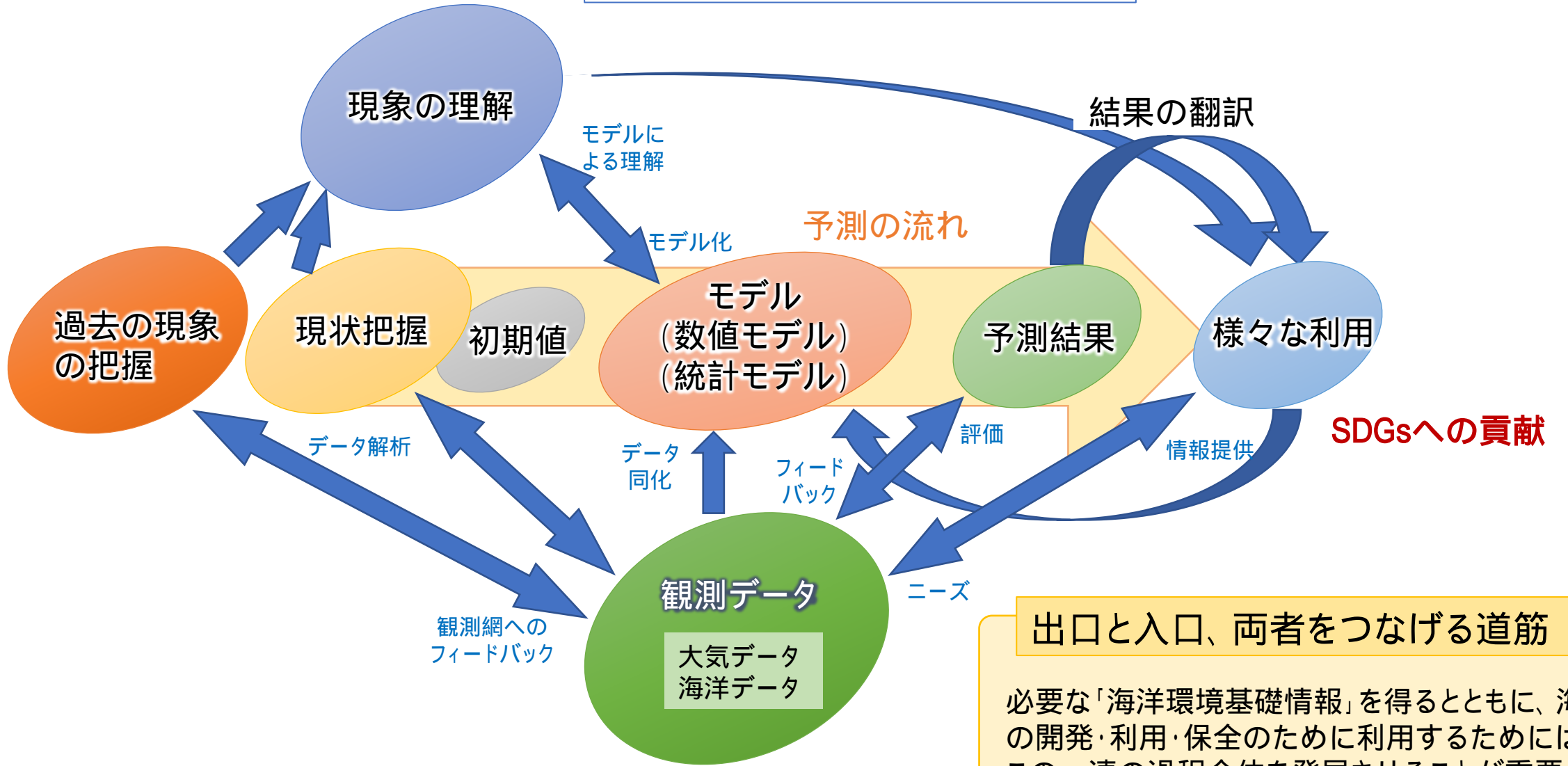
水温、塩分、流速、栄養塩、pH、プランクトン、希少金属、バクテリア、など

## 海洋環境基礎情報の重要性

持続的な海洋の開発・利用・保全のためには、これらの基礎情報に基づいた状況把握を行い、それらを土台とした計画や政策を作る必要がある。

また、将来予測のためにもこれらの基礎情報が不可欠である。

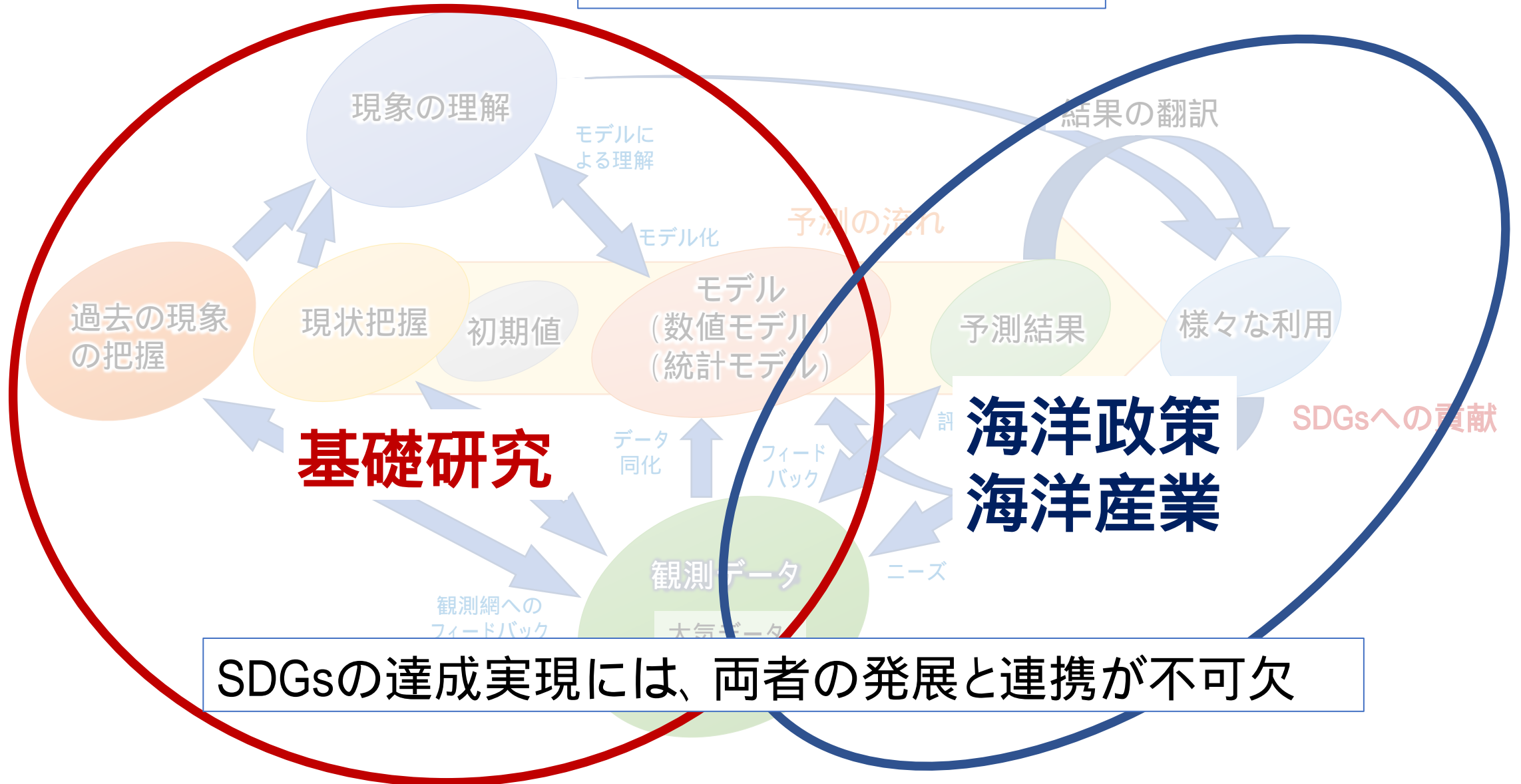
# 海洋変動の理解と予測



## 出口と入口、両者をつなげる道筋

必要な「海洋環境基礎情報」を得るとともに、海洋の開発・利用・保全のために利用するためには、この一連の過程全体を発展させることが重要

# 海洋変動の理解と予測



SDGsの達成実現には、両者の発展と連携が不可欠